

平成 29 年度

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

年 次 大 会 資 料

日時：平成 29 年 5 月 12 日（金） 14 時 00 分～15 時 00 分

場所：仙台市戦災復興記念館 研修室

仙台市青葉区大町二丁目 12 番 1 号

年 次 大 会 次 第

1. 年次大会議事 14 時～15 時

(1) 開会宣言

(2) 報告

- ①平成 28 年度活動報告
- ②平成 28 年度会計報告
- ③監査報告
- ④平成 29 年度～30 年度役員人事（案）
- ⑤平成 29 年度活動計画（案）
- ⑥平成 29 年度会計予算（案）
- ⑦その他

(3) 閉会宣言

2. 特別講演 15 時～17 時 CPD 2 h 予定

タイトル：地熱の利用：地中熱から超臨界地熱まで

講師：土屋 範芳氏（東北大学大学院環境科学研究科 地球物質・エネルギー学研究室教授）

3. 意見交換会 17 時 00 分～19 時 00 分

場所：レストラントップ

仙台市青葉区大町二丁目 12 番 1 号

会費： 5,000 円

1. 平成 28 年度活動報告

①年次大会 参加者：16 名

日時：平成 28 年 5 月 13 日(金) 14 時～15 時

場所：(株)ユアテック 3 階 A 会議室

特別講演：15 時～17 時 参加者 27 名

タイトル：三陸の地質資源とジオパーク

～被災資料の救済と地質資源の活用～

講師：永広昌之氏（東北大学名誉教授、東北大学総合学術博物館協力
研究員）

意見交換会 参加者 13 名

時間：17 時 30 分～19 時 30 分

会場：さなぶり (022-264-8710)

会費：5,000 円

②平成 28 年度研修会；参加者 60 名、意見交換会 10 名

テーマ：栗駒山麓ジオパークの見どころ

～ジオパーク構想から実現まで～

日時：平成 28 年 7 月 15 日（金）14 時 30 分～16 時 30 分

場所：メディアテーク 7F スタジオシアター

講師：佐藤操氏、中川理絵氏、原田拓也氏

（栗原市ジオパーク推進室）

参加費：無料（会員、非会員とも）

意見交換会：5,000 円

会場：さなぶり

③平成 28 年度現地見学会：参加者 12 名

テーマ：荒砥沢地すべり、冷水崩壊地、駒の湯温泉、行者の滝などの
崩壊地形見学およびジオパークの視察

日時：平成 28 年 9 月 16 日（金）

場所：栗駒山麓ジオパーク

案内人：藤原哲雄氏（栗駒山麓ジオガイド）

会費：会員・非会員 7,000円（交通費等）

④平成 28 年度第 2 回研修会；参加者 22 名、意見交換会 9 名

テーマ：北上山地の地体構造とその形成史 5 億年

（南部北上古陸の成立と発展-南からやってきた日本列島の基盤-）

日時：平成 28 年 11 月 11 日（金）15 時～17 時

場所：仙台市戦災復興記念館 4階 研修室
講師：永広昌之氏（東北大学名誉教授、東北大学総合学術博物館協力研究員）
参加費：2,000円（会員、非会員とも）、1,000円（学生）
意見交換会：5,000円
会場：レストラントップ

⑤平成28年度第2回現地見学会：参加者10名

テーマ：築川ダム基礎掘削面見学会

日時：平成28年12月12日（金）

場所：岩手県築川ダム

案内人：岩手県築川ダム建設事務所、日本工営株式会社（畚野氏、川崎氏）

会費：会員・非会員 1,000円

⑥役員会 平成28年4月8日（金）、5月13日（金）、6月17日（金）、7月15日（金）、8月19日（金）、10月14日（金）、11月11日（金）、12月9日（金）、平成29年2月10日（金）（計9回）

（太字は技術サロン開催日）

⑦ 技術サロン：4回開催（金曜日夕方開催）

○第一回 平成28年6月17日（金）18：00～20：30 参加者：14名

・「老土木技術者の回顧談」-社会に貢献した土木地質(学・技術)-」

菅原 捷氏

○第二回 平成28年8月19日（金）18：00～21：00 参加者：12名

・「深成岩地域の地下水調査の有効性-双葉郡葛尾村の例」谷藤允彦氏

○第三回 平成28年10月14日（金）18：00～20：30 参加者：15名

・「トンネル施工時の対応について-調査技術者としての反省と今後の展望-」 伊藤靖雄氏

・「津波による洗掘のメカニズム、巻き上げと液状化」 真野 明氏

○第四回 平成28年12月9日（金）18：00～20：30 参加者：10名

・「偏光顕微鏡と岩石薄片鏡下観察について」 川口通世氏

・「砂防ボランティア活動の紹介-活動内容と危険箇所点検時のポイントについて-」 押見和義氏

2. 平成28年度会計報告

応用理学部会 平成28年度 会計決算(案)

	決 算	H28年度予算	対 比
総収入	486,478	433,478	53,000
総支出	461,825	353,000	108,825
繰越金	24,653	80,478	△ 55,825

【収入の部】

科 目		決 算	H28年度予算	対 比	摘 要
H27年度繰越金		58,478	58,478	0	
本部交付金		100,000	100,000	0	
	小 計	158,478	158,478	0	
事業収入	年次大会	60,000	75,000	△ 15,000	年次大会16名出席、特別講演27名聴講
	見 学 会	94,000	75,000	19,000	第1回12名、第2回10名参加
	技 術 サ ロ ン	51,000	50,000	1,000	4回合計51名参加
	研 修 会	123,000	75,000	48,000	第1回60名、第2回22名参加
	地震防災WG活動	0	0	0	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	パンフレット頒布金	0	0	0	
雑収入	雑 収 入	0	0	0	銀行利息
	小 計	328,000	275,000	53,000	
総収入		486,478	433,478	53,000	

【支出の部】

科 目		決 算	H28年度予算	対 比	摘 要
事業費	年次大会	116,568	120,000	△ 3,432	往復ハガキ、講演謝礼、意見交換会
	見 学 会	113,174	75,000	38,174	9月、12月2回実施
	技 術 サ ロ ン	56,015	40,000	16,015	会場費、軽食代ほか
	研 修 会	162,400	90,000	72,400	謝礼、会場費、懇親会
	地震防災WG活動	0	5,000	△ 5,000	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	小 計	448,157	330,000	118,157	
管理費	会 議 費	1,360	6,000	△ 4,640	役員会会場費
	通 信 費	12,308	16,000	△ 3,692	
	事 務 雑 費	0	1,000	△ 1,000	
	予 備 費	0	0	0	
	小 計	13,668	23,000	△ 9,332	
総支出		461,825	353,000	108,825	

注) 対比は予算を基準として示した。

対比 = (決算) - (予算) マイナスは△で表示

3. 監査報告

監 査 報 告 書

平成28年度の事業および会計を、帳簿ならびに証拠書類により監査した結果、相違なく、適正に処理されていることを確認しました。

平成29年4月7日

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

監事 新沼正彦 

4. 平成 29 年度～30 年度役員人事（案）

役職	氏名	所属	備考
顧問	佐藤一夫	NPO 法人 防災・減災 SC	
顧問	滝田良基	(株)三協技術	新
顧問	谷藤允彦	新協地水(株)	新

役職	氏名	所属	備考
部会長	中里俊行	(有)ジオテクノ中里産業	
副部会長	黒墨秀行	(株)総合土木コンサルタンツ	岩手
副部会長	尾崎裕司	日本工営(株)	
代表幹事	今野隆彦	(有)ジオプランニング	総務
幹事	押見和義	(株)復建技術コンサルタント	
幹事	川口通世	(株)川口技術士事務所	福島
幹事	菊地 真	東北ボーリング (株)	
幹事	桜田裕之	(株)自然科学調査事務所	秋田
幹事	本田忠明	NPO 法人 防災・減災 SC	総務
幹事	森 信博	土木地質(株)	広報・記録
監事	新沼正彦	(株)測地コンサルシステム	(総務)

5 . 平成 29 年度 活動計画 (案)

① 平成 29 年度 年次大会および特別講演

日時：平成 29 年 5 月 12 日 (金) 14 時 00 分～17 時 00 分

場所：仙台市戦災復興記念館 研修室

仙台市青葉区大町二丁目 12 番 1 号

年次大会 14 時～15 時

特別講演 15 時～17 時

タイトル：地熱の利用：地中熱から超臨界地熱まで

講師：土屋 範芳氏 (東北大学大学院環境科学研究科 地球物質・エネルギー学研究室教授)

意見交換会

時間：17 時 00 分～19 時 00 分

会場：レストラントップ

仙台市青葉区大町二丁目 12 番 1 号

会費：5,000 円

② 平成 29 年度研修会

テーマ：北上山地の花崗岩に関する研修会

日時：平成 29 年 7 月中旬

場所：未定

講師：未定

意見交換会：参加費 5,000 円

会場：未定

③ 平成 29 年度現地見学会

日時：平成 29 年 9 月中旬

場所：北上山地の花崗岩

案内：未定

④ 役員会

平成 29 年 4 月 14 日 (金)、5 月 12 日 (金)、**6 月 9 日 (金)**、7 月 14 日 (金)、**8 月 18 日 (金)**、**10 月 13 日 (金)**、11 月 10 日 (金)、**12 月 8 日 (金)**、2 月 9 日 (金)

(太字は技術サロン開催予定日)

⑤地震防災 WG

特定非営利活動法人防災・減災サポートセンターと協力して活動

⑥技術サロン：4回開催・・・市民センター他の公共施設

6月～12月隔月第2または第3金曜日；18：00～20：30

会費 1000 円/回

開催予定月日；6/9, 8/18, 10/13, 12/8

6. 平成 29 年度 会計予算 (案)

応用理学部会 平成29年度 会計予算(案)

	H29年度予算	H28年度決算	対比
総収入	374,653	486,478	△ 111,825
総支出	292,500	461,825	△ 169,325
繰越金	82,153	24,653	57,500

【収入の部】

科目	H29年度予算	H28年度決算	対比	摘 要	
前年度繰越金	24,653	58,478	△ 33,825		
本部交付金	本部交付金	100,000	100,000	0	
	小計	124,653	158,478	△ 33,825	
事業収入	年次大会	75,000	60,000	15,000	意見交換会15名
	見学会	30,000	94,000	△ 64,000	現地最寄駅集合・解散
	技術サロン	50,000	51,000	△ 1,000	4回開催、会費1000円
	研修会	95,000	123,000	△ 28,000	20名、意見交換会15名
	地震防災WG活動	0	0	0	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	パンフレット頒布金	0	0	0	
雑収入	雑収入	0	0	0	
	小計	250,000	328,000	△ 78,000	
総収入	374,653	486,478	△ 111,825		

【支出の部】

科目	H29年度予算	H28年度決算	対比	摘 要	
事業費	年次大会	95,000	110,568	△ 15,568	謝礼、案内はがきほか
	見学会	20,000	113,174	△ 93,174	資料代、保険ほか
	技術サロン	52,000	56,015	△ 4,015	4回開催、会場費ほか
	研修会	97,500	162,400	△ 64,900	会場費、意見交換会
	地震防災WG活動	5,000	0	5,000	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	小計	269,500	442,157	△ 172,657	
管理費	会議費	6,000	1,360	4,640	役員会会場費
	通信費	16,000	12,308	3,692	HP管理費、郵送料ほか
	事務雑費	1,000	0	1,000	
	予備費	0	0	0	
	小計	23,000	13,668	9,332	
総支出	292,500	455,825	△ 163,325		

対前年決算
H29予算-H28決算
-は△で表示

公益社団法人日本技術士会 東北本部 応用理学部会 規約

平成 15 年 4 月 11 日制定
平成 17 年 6 月 10 日改正
平成 18 年 5 月 12 日改正
平成 20 年 5 月 8 日改正
平成 25 年 5 月 16 日改正
平成 26 年 5 月 9 日改正

第 1 条 名 称

本部会は「公益社団法人 日本技術士会(以下、技術士会)東北本部 応用理学部会」(略称「東北 応用理学部会」と称する。

第 2 条 目 的

本部会は、

- 1) 専門技術の観点から技術士会に協力する。
- 2) 技術士の職業倫理の確立と地位の向上を図る。
- 3) 部会員の技術の向上を図る。
- 4) 部会員相互の親睦を図る。
- 5) 専門技術を通し地域社会へ貢献する。

こと等を目的とする。

第 3 条 部 会 員

部会は、応用理学部門に合格した技術士会会員および準会員をもって構成する。

第 4 条 役 員

本部会は、上記目的を達成するため、次の各号に掲げる役員を置き円滑な部会の運営にあたる。

部会長	1 名
副部会長	2 名
幹事	若干名
監事	1 名

本部会は顧問を置くことができる。顧問は、本部会活動の活発化および円滑な運営を図るため、第 7 条で規定する会議に出席し、意見を述べることができる。

役員任期は 1 期 2 年とし、再任を妨げない。ただし、部会活動活性化のため、部会長は最長 2 期を限度とする。

第 5 条 役員を選任

1. 部会長は、部会年次大会において選任し、本部長に報告する。
2. 幹事は、部会長が部会員の中から委嘱し、年次大会に報告する。
3. 顧問は、役員会が推薦し、年次大会に報告する。
4. 監事は部会長が推薦し、年次大会で承認を得る。

第6条 役員の仕事

1. 部会長は、部会を代表し、全般を総括し、必要に応じて日本技術士会東北本部の役員会で部会に関する意見を述べることができる。
2. 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その仕事を代行する。
3. 幹事は、部会の年次計画案を作成、実行、その他事務事項を担当する（部会員の連絡事項を含む。）
4. 監事は、部会の経理状況及び業務の執行の状況を監査する。更に、役員会に出席して職務に対する意見を述べることができる。

第7条 会議の種類

本部会の会議は、年次大会、役員会とする。

第8条 年次大会

1. 年次大会は定期年次大会及び臨時大会とし、部会長が召集する。
2. 定期年次大会は、原則として本部年次大会前に開催する。
3. 臨時大会は、次の各号に該当する場合に開催する。
 - ①役員会において必要と認めた場合
 - ②部会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
 - ③前項の規定により臨時大会を開く請求があったときは、部会長は、速やかに臨時大会を召集しなければならない。
4. 年次大会の議長は部会長が務める。
5. 定期年次大会及び臨時大会は部会員をもって構成し、委任状等を含めて2分の1以上の出席がなければ開くことができない。

第9条 年次大会の議事

1. 年次大会においては、この規約に規定するものの他、次の各号に示す事項を議決する。
 - ①前年度活動報告及び決算の承認に関する事項
 - ②年次活動計画及び予算の決定に関する事項
 - ③役員会において年次大会に付議する必要があると認めた事項
2. 年次大会の議事は、出席者の過半数をもって定める。

第10条 規約の変更

本規約の変更は、役員会の3分の2以上の同意を以って発議し、年次大会において出席した部会員の3分の2以上の同意を以って成立する。

第11条 役員会

1. 役員会は構成員の2分の1以上の出席を以って成立し、次の事項を審議する。

2. 役員会の議長は部会長が努める。ただし、都合で部会長の指名により一任された者が会議を推進することができる。
3. 役員会の内容は、その都度議事録を作成する。
4. 役員会に付議する事項は、部会の運営に関することを原則とする。

第12条 部会活動

部会活動は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

1. 本部会並びに他の部会との連携を図り、共通の課題に対する、討議、意見の交換及び行事の共催
2. 国、地方公共団体、民間等の国内の組織団体との技術交流並びに海外の科学技術関係の技術者との交流
3. 科学技術に関する調査並びに文献及び資料の収集
4. 科学技術に関する研修、講演会、見学会等の開催
5. 専門技術により地域に貢献するため地方公共団体等からの相談・依頼があった場合業務を受託し行うことができる。
6. 科学技術に関する情報の交換、新技術の修得及び意見交換等を目的とする行事の開催
7. 部会員相互の親睦を図るための行事の開催
8. 前各号に掲げるものの他、本部会の目的を達成するために必要な活動

第13条 会費等

年会費は当面の間、無料とし、各行事毎に参加費を徴収する。

第14条 事業年度

本部会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。